

る「援助交際」という行為が実質的に売春というは犯罪行為に他ならないということを啓蒙することになった。つまり売春という行為が「援助交際」という名で語られ、「売春」という行為のもつ犯罪的な意味合いが軽減されてしまったかのように当局には認識されたことにある。

しかしながらフィールドワーク（現場調査）に基づいたデータによれば、援助交際と呼ばれている事象の中身は実に多様である。一例としてアキと名乗る二十の大学生が伝言ダイヤルのオープンに吹き込んだメッセージを見てみよう。

<データ1>

もしもし、えっと20の学生です。私、大阪市内に住んでいて、身長160、体重53ぐらいで、ちょっとポッチャリしてます。見た感じは、普通やと思います。大阪市内、阪急沿線に住んでいるので、梅田か十三あたりで会ってもらえる方、探しています。一応、援助で会ってもらえる方、探しています。

(1998.2.19 収録)

このメッセージを吹き込んだのは、1997年の1月の下旬である。この伝言を通じて、アキは、インタビューを行った三月の終わりまでに、十八人の男性と援助交際を行っている。現実の援助交際は例えばこのようにして行われている。そして援助交際に関して最初に明記しておかねばならないことは、援助交際を行う当事者はマスメディアで取り上げられる女子高校生だけでなく、一般のOLから大学生、専門学校生、フリーター、既婚女性までさまざまであることである。また私が直接話を聞いた女性だけでも、二十歳前後の女性が六七割を占めるとはいえ、年齢的には十六歳から四十歳までと実に幅広い。援助交際の内容に関しても、例えば私が取材した事例をあげると、京都の女子高校生二人は彼女らが「オヤジ」と呼ぶ三十代、四十代の男性に、カラオケに一緒に行く、服

の上から身体を触らせるという行為の代償にお金を受け取っている。このことは女子高生に限らず、二十代のOLが中高年の男性と食事を共にするだけで数万円の金品を受け取るという事態とそうは変わらない。また援助交際を行っている女性の中には、意識的に女性器への男性器の挿入という行為を伴う援助交際とそれ以外の援助交際を分けている場合もある。前者は「ウリ」、また稀には「本番」という言葉で呼ばれている。

次に言及しておかねばならないことは、「ウリ」または「本番」と呼ばれている「援助交際」が日常的に用いられる「売春」と全く同一なものか、そうでないのかという点である。売春を、女性が女性器への男性器の挿入という性行為の代償に金品を受け取ることと定義すると、ここでの筆者の立場は、両者は外見的には全く同一のものであることを了解した上で、しかしながら、当事者たちの意識的な意味合いは全く異なるものだものである。以下にその理由を説明しよう。まず売春には管理売春と自由売春がある。管理売春とは、女性器への男性器の挿入を伴う性行為の、買い手と売り手以外に第三者が介在し、その第三者が場所を提供したり、買い手と売り手の交渉を仲介する。具体的には、ソープランド⁸⁾やホテル⁹⁾などが代表的である。自由売春とは第三者が介在しない売春であり、売り手と買い手という二者関係である。広義には援助交際の「ウリ」または「本番」もこれに含まれる。管理売春と自由売春の違いは、何かトラブルが生じたときの責任の帰属という点にあらわれてくる。この点を、風俗と援助交際の両方を経験している、ユキと名乗る22才の女性へのインタビューから裏付けてみよう。

<データ2> (): 筆者補足

筆者：最初に援助（交際）をやったときも、（風俗を初めてやったときと）同じ気持ちだったの？

ユキ：最初に援助したときはムチャ緊張した

8) ソープランドとは特殊浴場とも言われている。男性客は店に入り、希望する女性のプロフィールを店側に伝え、女性が男性客を浴場でさまざまなサービスをする。特色は「本番」と呼ばれる男性器の挿入を伴う性行為をサービスと提供していることである。

9) ホテルとは、男性客が事務所に連絡して、女性を指定した場所、ホテルなどに派遣してもらいシステムを指す。サービス内容や派遣される女性のプロフィールは、客の好みに応じて提供される。